

## 美術科 3年生 シラバス

### 1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

### 2.美術の分野を学ぶ意義

- 生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- 生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになるようにし、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かすようにできるようになること。
- 生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

### 3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。</p> <p>技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。</p>	<p>思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。</p> <p>判断：主題を生み出すことができる。</p> <p>表現：豊かに発想し構想を練ることができる。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。</p>

### 4.主体的に学習に取り組む態度について

- より良い表現を目指して構想を工夫改善すること
  - 例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることに取り組む
- 粘り強く取り組む態度が感じられること
  - 例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む
- 美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること
  - 例 私たちの社会の中や生活の中に学習を活かすことができる
  - 例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

美術科 3年生 学習計画と評価基準について

	教科書見出し	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デザイン・工芸の分野	つくって味わう 工芸1	1回～4回	知識：形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や技法などを基に、良さや美しさを伝えることを理解している。	発想：材料のよさや美しさを基に、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。  鑑賞：人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。  態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞	5回	知識：形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などが作者の意図や美しさを伝えることを理解している。	鑑賞：使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	つくって味わう 工芸1	8回～16回	知識：材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法が、材料の持ち味や、全体のイメージを伝えることを理解している。  技術：材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作順序などを総合的に考えつつ、見通しを持って創造的に表すことができる。	発想：材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。  鑑賞：使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。  態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
絵画・彫刻の分野	今を生きる私へ	17回～28回	知識：構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、自分の印象などを見る人に伝えるをことを理解している。  技術：材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表すことができる。	発想：自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。  鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。  態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	なんでこれが美術	29回～35回	知識：様々な芸術や造形物を知ることで、現代芸術の流れやイメージなどを理解している。その良さや美しさや考えを理解している。	鑑賞：現代美術の美しさ、面白さを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に現代美術の面白さや考え方などに関心を持ってよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
具体的な評価の方法			作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言



